

デジタル・イノベーション

1 デジタル戦略（4つの重点取組事項）

2023年度は、新たにスタートしたデジタル戦略の4つの重点取組事項である ①新デジタル経済圏でのビジネス領域拡張、②データドリブンな意思決定メカニズムの構築、③オペレーションの抜本的変革、④新たなケイパビリティの実装についてデジタル戦略子会社“Trust Base”を起点に推進してきました。スタートから1年が経ち、デジタル経済圏を見据えたデジタルアセットの取り組みはビジネスを開始する準備が整い、事業化に向けて順調に取り組みを進めています。また、

経営効率化に通ずる業務のデジタル化・効率化はRPA・AI-OCRを積極活用し、2023年度は新たに約8万時間の業務削減を実現し、累計では約60万時間を超えるまでに浸透し、着実に業務効率化を進めています。データ分析基盤の構築もユースケースを基軸に設計および開発の具体化を進め、デジタル起点のオペレーション変革によるデータ創出との両輪でDXの基礎を固めてきました。



2 生成AIの活用と今後の方針

2023年度は生成AIの活用が多方面で注目され、専門性、個性の強い当グループでも業務の効率化・高度化を実現する技術として、外部パートナーと研究、トライアルを進めながら業務適用に注力してきました。三井住友信託銀行では、本部各部を中心にChatGPTの業務利用を開始しました。また、生成AIを利用した抜本的な業務効率化・自動化を図る取り組みを推進し、2024年度からは業務への実装を見据え

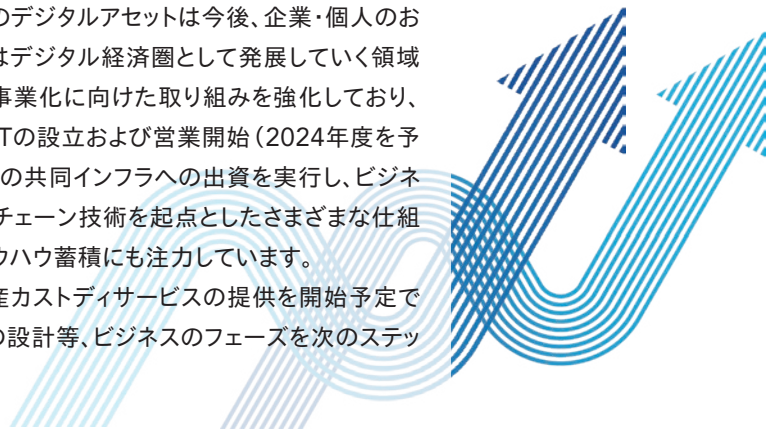
て、具体的な構築を進めていきます。

ありたい姿として定めた「2030年、一人ひとりがテクノロジーを活用し自らの可能性を拡げ、時代の変化に即した新たな信託ビジネス開発・業務効率化を実現し、社会的・経済的価値を創出する」というビジョンのもと、2024年度も、引き続き4つのデジタル戦略を軸に信託×DXを推進し、信託グループならではのデジタル利活用の実践を進め、さらなる成長を実現します。

3 次世代の信託 デジタルアセットの取り組みはビジネス化へ

STO (Security Token Offering) や暗号資産等のデジタルアセットは今後、企業・個人のお客さまの新たな資産・運用先として浸透し、将来的にはデジタル経済圏として発展していく領域と考えています。当社は信託グループとして次世代の事業化に向けた取り組みを強化しており、2023年度は暗号資産カストディビネスを担うJADATの設立および営業開始（2024年度を予定）に向けた信託免許取得等の準備、STO発行・流通の共同インフラへの出資を実行し、ビジネス化に向けた取り組みを進めてきました。またブロックチェーン技術を起点としたさまざまな仕組みの検証を進め、次世代ビジネスの業務設計に係るノウハウ蓄積にも注力しています。

2024年度はJADATの営業開始とともに、暗号資産カストディサービスの提供を開始予定です。デジタルアセット領域の事業化に向けた組織体制の設計等、ビジネスのフェーズを次のステップに移していく取り組みに注力していきます。



4 デジタル起点のオペレーション変革とデータドリブン経営の実現

当グループではこれまでRPA、AI-OCRによる業務効率化に注力してきており、2023年度も年間で約8万時間に及ぶ業務削減を実現しました。デジタル化・効率化は、業務の削減を通じて成長領域への人員アロケーションを実現するだけでなく、価値の高い1stパーティーデータの創出と蓄積も実現します。また、業務プロセスをデジタル起点に捉え直すことにより、専門性・個性の強かった信託銀行業務の自動化領域を拡張することで、抜本的なオペレーション変革を実現する取り組みを推進していきます。

2024年度はこれまで進めてきた“点”での自動化を“線”でつなぐ取り組みに注力し、さらなる業務の自動化・効率化を実現していきます。



当グループは専門性の高い、多様なビジネス領域を持ち、そこから生まれる多量のデータは信託×DXを実現する示唆にあふれています。2023年度はグループのデータを収集・蓄積するデータ分析基盤の構築を進める一方、データ利活用文化の醸成のため、グループ全社員を対象にデータドリブンコンテストを開催し、600名超がデータ分析、示唆の抽出にチャレンジする等、データ利活用のさらなる推進に注力しました。

デジタル戦略では業務プロセスの変革とデータ分析基盤の構築および意識醸成、データ分析ツールの展開をセットで推進し、誰もがデータ起点に考え、意思決定する仕組みの構築を進めています。データドリブンな意思決定は業務遂行のあらゆる場面で高度化を実現し、持続的な成長力を生み出す取り組みと捉えており、引き続き注力していきます。

※データドリブンコンテストのポスターはTrust Baseのデザイナーが作成

